

第41回触媒化学融合研究センター講演会

産総研触媒化学融合研究センターでは、様々な分野で活躍している大学、公的研究機関、企業等の方々をお招きして、講演会を開催することで分野の垣根を越えた連携の実現を目指しています。

今回は「触媒反応の新展開」をテーマとして下記の通り開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時: 2017年 2月 3日(金) 15:00~17:00

場所: 産総研第5事業所第2本館 第4会議室(5-2-6603室)

講演概要:

〈演題〉高選択的分子変換を実現する 複合金属ナノ粒子触媒の設計と開発



〈講師〉大阪大学 大学院基礎工学研究科

満留 敬人 准教授

金属ナノ粒子と無機酸化物を複合化すると、その界面で協奏的触媒機能が発現し、液相での高選択的分子変換を温和な条件下で進行させることができる。本講演では、新規な協奏的触媒作用の発見やその界面協奏作用を最大限に引き出すための構造制御法(触媒設計法)の開発、及び従来の触媒を越えるパフォーマンスについて述べる。

〈演題〉固体ルイス酸によるバイオマス由来糖類からの 有用フラン類・有機酸の合成



〈講師〉北海道大学触媒科学研究所 中島 清隆 准教授

次世代の資源循環型社会を構築するためには、再生可能資源を利用した環境にやさしいものづくりが必須である。特に、非可食バイオマスを構成する糖類(キシロースやグルコース)から我々の身近にある多様な基幹化学品の原料となる有用フラン類へと変換することが課題となっている。本講演では、固体酸化物表面に形成されるルイス酸を利用した水溶液内における糖変換反応について発表する。

【問い合わせ】触媒化学融合研究センター: 白川

Tel:029-861-2763, E-mail:irc3-kouenkai-ml@aist.go.jp